



海洋センターの多機能化へ 「修繕助成制度」の活用を！

B&G財団では、海洋センターを地域コミュニティの拠点として活用していただくために、施設の多機能化改修を支援しています。2018年度事業から、多機能化改修も海洋センター修繕助成の対象になっています。

今回ご案内しました事例も、助成対象となる事業が多く含まれています。地域の活性化のために、助成制度をご活用ください。

「多機能化」修繕助成概要

助成対象	特A評価またはA評価の海洋センター
助成限度額	体育館及びプール…各 3,000 万円 艇庫…1,000 万円 ※2001 年度以降の累計になります。
基準助成率	特A評価…60%以内 A評価…50%以内
助成率加算	多機能化工事の実施…5% 自治体の取り組み姿勢…5%以内 ※助成率加算は 10%以内となります。
備品の購入	総工事費の 10%以内

改修例（鹿児島県与論町）



【改修前】



【改修後】



【事業展開】

改修内容：海洋学習の拠点とするため、艇庫の一角をフローリング化

事業展開：サンゴ礁を題材にした学習会や絵画教室の開催 など

【2019 年度事業 修繕助成の流れ（予定）】

1. 事前相談

修繕助成全般に関すること…センター・クラブ課 (TEL：03-6402-5314)

海洋センターの多機能化事例に関すること…事業課 (TEL：03-6402-5313)

※事例は B&G 財団の HP でも紹介しています。 <http://www.bgf.or.jp/community>

2. 修繕助成の申請 → 2018 年 8 月

3. 修繕助成金額の内示通知 → 2019 年 2 月

4. 修繕助成金額の決定通知 → 2019 年 4 月

※上記のご案内は、2018年度事業修繕助成をもとにしておりますので、2019年度では内容を変更することがあります。詳しくは、センター・クラブ課までお気軽にお問い合わせください。

海洋センターがつなぐ 地域の絆

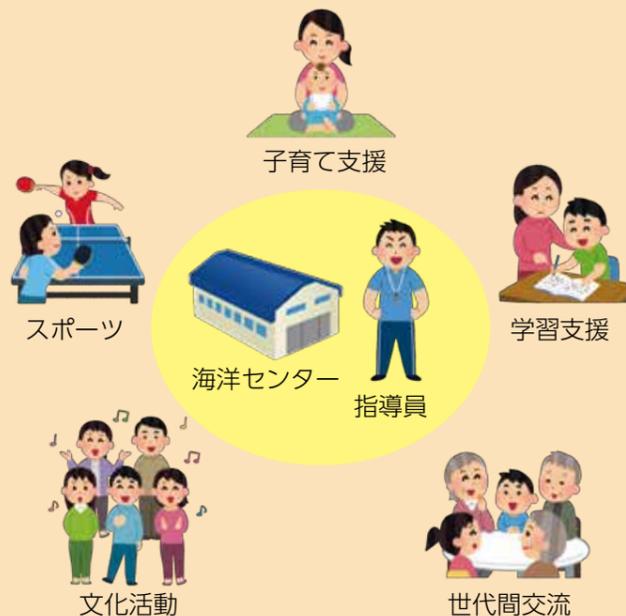
みんなが集う地域の拠点へ





地域の元気を発信する海洋センターへ 誰からも親しまれ、気軽に集える施設づくりを提案します

海洋センターを拠点にしたコミュニティの創生



B&G財団は、地域の活力を生み出す海洋センターを目指して、2015年度から地域コミュニティの拠点づくりを進めています。

ニーズに応じた拠点整備

多機能化改修

→B&G財団が改修事業を支援します。
詳しくは裏表紙をご覧ください。

ソフト事業の展開

→事例は2～6ページ

地域コミュニティの拠点へ

拠点化でできること

- ・多様な住民活動の場を提供
- ・住民同士のつながりを強化

地域の活性化につなげます

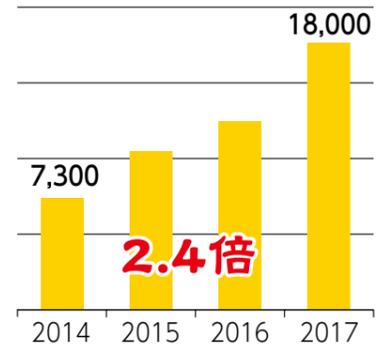
- ・地域の魅力・活づくり
- ・安心安全な地域づくり
- ・郷土への愛着による定住促進

★取り組み自治体から

北海道積丹町



「これまで利用のなかった住民」を海洋センターに呼び込むことができ、利用者たちで自主サークルを結成するなど、コミュニティの形成につながり、住民の自発的な活動が広がっています。



利用者も大幅に増えました

事例



子育て支援

整備

キッズスペース、遊具、おむつ交換台、授乳室 など

ロビーにキッズスペースを設置し、住民に周知することで、子育て世代が集まるようになりました。交流をきっかけに、お母さんたち自らが子育てサークルを立ち上げ、子育ての相談ができるネットワークを構築しました。



0歳児から入水できるベビースイミング
(岡山県瀬戸内市邑久)



読み聞かせ
(兵庫県篠山市)



暖かみのある木製遊具
(大分県宇佐市安心院)



ママの声

かわいい色合いで、ロビーが明るくなりました。



ママの声

海洋センターで遊んだ後、お茶を飲んでゆっくりする場ができて、ママ友同士の会話も弾んでいます。



学習支援

整備

ロビー拡張、学習用机・椅子 など

塾講師による受験生への学習指導や、教員と連携した宿題サポートをしています。漫画を活用した英会話教室も開かれるなど、新しい学習の場として、子どもたちを支援しています。



ALTの英会話教室
(熊本県湯前町)



冬休みの宿題サポート
(北海道積丹町)



受験生向けゼミナール
(北海道積丹町)



講師の声

この地域でやっと教える機会ができた。塾をきっかけに、学力向上とともに、人としての成長も期待したい。



受講生の声

勉強への意識が変わり意欲が沸いた。ワクワクしながら楽しく学んでいる。

事例



世代間交流

整備

大型テレビ、プロジェクター、カラオケ機材 など

地元でパブリックビューイングができるようになり、遠出ができない住民も一緒に参加しています。

お年寄りからけん玉やあやとりなどの昔遊びを教わりながら、一緒に遊び交流を深めています。



郷土芸能大会のパブリックビューイング
(熊本県湯前町)



昔遊びによる三世交流
(岡山県美作市作東)



初めてのスポーツ吹矢
(岡山県矢掛町)



子どもの声

いつもはプールで遊ぶけど、今日はおじいちゃん、おばあちゃんにけん玉を教わって楽しかった。



お年寄りの声

子どもたちは、自分の孫のようでかわいかったし楽しかった。元気をもらった。



文化に親しむ活動

整備

艇庫のフローリング化、展示棚、書棚、書籍 など

地元伝統工芸や絵手紙などの文化教室が開催され、できあがった作品の展覧会では、多くの来館者を呼び込みました。

住民が寄付した書籍によって、充実した図書コーナーの整備も進んでいます。



伝統工芸品づくり
(島根県雲南市加茂)



ミニ図書館で読み聞かせ
(岐阜県中津川市付知)



艇庫でアクセサリづくり
(鹿児島県与論町)



講師の声

継承が難しい時代に、地域住民と伝統文化をつなげる場ができて、大変感謝している。



担当者の声

地元の職人と子どもたちが触れ合うことで、お互いに新たな発見をすることができた。

事例



子どもの居場所

整備

視聴覚機材 など

放課後や休日など、自宅に誰もいない家庭のために、子どもの居場所を提供しています。放課後子ども教室として運用しているセンターもあります。



放課後音楽クラブ
(北海道積丹町)



放課後子ども教室
(北海道積丹町)



映画観賞会
(北海道積丹町)



小学生の声

今までは遊び場所がなかったけど、今は海洋センターでいつも遊べるようになってうれしい。



担当者の声

小学校帰りに立ち寄りが増えた。夕方までは、海洋センターに誰かしらお友だちがいる。



障害者の居場所

整備

チェアボート(車いす用ボート) など

学校や家庭以外の新しい居場所を開設し、読み聞かせや宿題・学習活動などを行っています。トランポリンなどの運動を通じて、体幹のトレーニングやチャレンジ精神の向上につながり、引きこもりがちだった子どもたちが、自発的に利用するようになりました。

障害者も活動できる器材を導入して、インクルーシブな活動の場になりました。



誰もが気軽に過ごせる居場所
(岡山県奈義町)



チェアボートで海へ
(鹿児島県南さつま市坊津)



担当者の声

運動を通じて、順番や利用マナーを守りようになり、社会性も成長しています。これからも「できた」喜びや楽しさ、「できない」悔しさなどを体験し、子ども達が新しい事にもどんどんチャレンジし、成長する姿を応援していきたいと思っています。

事例

食育

整備

展示コーナー など

現代の生活では、魚をさばく機会が大人も子どもも少ないので、地元の板前さんから、さばき方や様々な調理法を学びました。

地元特産品の展示コーナー設置や、特産品を使った「食と健康」教室の開催など、栄養・食事の面から健康について学ぶ機会も提供しています。



魚のさばき方教室
(鹿児島県与論町)



特産品の展示・販売コーナー
(岐阜県中津川市加子母)



子どもの声
特産品の野菜がたくさん入っていて、とてもおいしかった。



保護者の声
スポーツ後のビタミンやミネラルなどの栄養補給が大切であることがよくわかりました。

憩いの場

整備

ロビーの拡張、給茶機 など

ロビーの居住性を高め、利用者がくつろげるスペースに改修しました。お茶を飲みながら、談話や読書を楽しむことができ、スポーツ利用をしない方でも、気軽に利用できる新しい居場所の一つとなっています。



イベント後にロビーで談笑
(広島県尾道市瀬戸田)



バルーンアート体験
(広島県尾道市瀬戸田)



こだわりの珈琲教室
(熊本県湯前町)



子どもの声
ロビーに机ができたので、宿題ができるようになった。



大人の声
一休みできる場所ができたので、これからは気軽に来ようと思います。

事例

住民ボランティアの活躍

ボランティア活動を希望する住民に協力を依頼し、定期的な運動教室が開催されています。様々な活動でサポートを務めるなど、ボランティアが活躍するようになりました。



トランポリンの指導
(熊本県湯前町)



仮装でイベントの協力
(熊本県湯前町)



高齢者教室の指導サポート
(熊本県湯前町)



ボランティアの声
海洋センターから声をかけられて協力するようになった。毎日のように訪問して、やりがいを感じるのありがたい。



ボランティアの声
保育園の勤務経験があり、コーディネーターとして協力依頼を受けた。母親が働くには子どもを預かってくれる場所が必要。

住民の主体的な活動への発展

子育てサークルの発足後、子育て世代が団結して、自分たちで子育てをしやすい環境を目指して活動しています。

漁師の青年部では、コミュニティ施設として活用するためのイベントを企画し、多くの住民が参加しました。



子育てサークルでカラオケ機材の活用
(北海道積丹町)



青年部主催ソフトボール交流会
(北海道積丹町)



イベント時のコーヒー提供
(熊本県湯前町)



住民の声
子育てサークルの活動を通じて、行政に頼るだけでなく、自分たちでできることは自分たちでやろう、という動きが自然に出てきました。



住民の声
今後も青年団で、住民が参加できるイベントや、漁師の仕事への理解・関心が高まる取り組みなどをやっていきたいです。